

「謎解きブックトーク」授業プラン

- (1) 学年 1 学年
- (2) 単元名 「謎解きブックトーク」
- (3) 単元の目標

表紙やタイトルから得られる情報を基にして内容を予想する楽しさを味わいながら、他者と意見を共有し、異なる視点を理解することで、読書が知識や情報を得たり、自分の考えや視野を広げたりする手段であることを学び、読書に対する興味関心を深める。

- (4) 単元の評価規準

知識・技能	主体的に学習に取り組む態度
①読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(オ)	①言葉が持つ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養っている。

- (5) 指導と評価の計画 (3 時間)

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
1	<p>(事前) クラスメイトに紹介したいおすすめ本を一冊用意しておく。</p> <p>① 4 人グループで「謎解きブックトーク」(本の表紙とタイトルから内容や魅力を予想しあい、あとで種明かしをする形式の読書紹介)を行う。 (活動の詳細は次ページ)</p> <p>② オンライン掲示板 (パドレット) に本の表紙を貼り付ける。グループの他の生徒は紹介についての感想コメントを書き込む。</p> <p>③ 学習を振り返り、次にどんな読書をしたいか見通しを持つ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書室でグループごとに座って活動する。 ・ 本は実物を用意させる。なければ PC の画面で表紙を表示させる。 ・ 掲示板は学年全体で共有する。 	<p>○ 様々な観点で予想しあったり、紹介したりしている。(観察)</p> <p>○ グループのメンバーが紹介した様々な本の感想を掲示板に記入している。(掲示板)</p> <p>● この活動で学んだ様々な本の楽しみ方や、発見したことをふまえ、振り返りを書いている。(振り返り)</p>
2	(2 学期開始時に、同様の内容で実施)		
3	(3 学期開始時に、同様の内容で実施)		

- (6) [知識及び技能] (3)読書の指導事項に関する観点別学習状況の評価において「B と判断する状況」に該当する生徒の記述等の例

記述例 1: 多様なジャンルや視点に触れた振り返り

「今回の謎解きブックトークでは、今まであまり読んだことのないジャンルの本について知ることができました。特に、SF やミステリーなど、自分が普段は手に取らない本でも、表紙から内容を予想するだけで興味がわいてきました。また他の人のコメントで「細かく作り込んだ世界観を読むのが楽しい」など自分とは違った読書の視点があることに気付きました。

記述例 2: 読書紹介が考えを広げたことに触れた振り返り

「今回の謎解きブックトークで、SF の本を紹介されました。普段はあまり読まないジャンルだったのですが、他の人の意見を聞いて、未来の技術や社会について考えることが、現代社会の問題を理解するためにも役立つことに気付きました。例えば、AI の進化といった SF の設定が、実際に私たちが将来直面するかもしれない課題について深く考えるきっかけになりました。」

※資料：「謎解きブックトーク」生徒に提示した手引きから

①参加者が本の内容についての予想を語る。(2分)

- 1 紹介者は黙って本の表紙を見せる。
- 2 参加者は、本の表紙から分かる情報から、本の内容についての予想を語る。
紹介者は喋らずにうんうんとか頷く程度の反応を示す。

○ポイント

全く知らない本でも、堂々と、思いつきの勝手な予想を語りあうと楽しい。
一言ではなく、どんどんと想像を膨らませて、できるだけたくさん語る。
紹介者は極力リアクションをしない。

次の観点を参考に予想を語り合う

謎解きブックトーク（読書の知識を駆使して、表紙から内容を読もう）

(表紙を見せて)「読んだことある人いますか？」

→読んでない人から順に予想を語り合う

内容を予想する観点例

- タイトル、表紙からわかる、作品の印象、雰囲気
- ジャンル（学園物、ミステリー、ファンタジー、SF、歴史小説、自伝・評伝・ノンフィクション、エッセーなど）
- 作品の舞台(いつ：現代/未来、どこで：日本/海外)
- 人物設定（こんなキャラが登場する、人間関係はこうなる）
- 構成・展開（ストーリー展開、クライマックス、結末は）
- テーマ、メッセージ（若者向け、〇〇な人向け）
- (読んだことある人)ネタバレしない程度で、作品についてふわっと語る。「こんな本ですよね」



予想:2分
紹介:3分

あまりの時間は
質問タイム

②紹介者は種明かし（本の紹介）をする。(3分)

- 実はこの本は・・・
- ジャンルは・・・
- 登場人物は・・・
- おすすめポイントは・・・
- 「面白いので、ぜひ読んでみてください」

時間が余ったら、他の人が引き続き、積極的に質問、コメントをして盛り上げる。

2 パドレットに紹介した本のリンク（画像あり）を貼る。

3 同じ班の参加者はブックトークを聞いた感想（コメント）を書く。



2 本事例に対する指導主事等としての評価（自己評価です）

(1) 本単元の指導と評価に関する成果（良い点）

- ① 聞き手は予想をし合うことで、「早く内容を知りたい」という思いが自然と高まり、読書への関心が深まる。
- ② 話し手は、聞き手の「知りたい」という関心に沿った形で本の紹介を行うため、紹介すること自体が心地よく、話し手としての自信も得られる。
- ③ 本を語り合う観点を提示することで、その観点をもとにして参加者同士の読書経験を共有し合い、ジャンルに関する知識や楽しみ方を交流する機会となっている。

(2) 本単元の指導と評価に関する課題（改善すべき点）

- ① 予想が盛り上がりすぎて時間がオーバーしてしまい、紹介に時間が取れないことがある。